

(9) 林道整備状況

イ 現在整備中の林道状況

路線名	実施主体	位置	全体計画			計画期間	平成29年末の実施済延長	平成30年度以降の計画延長
			幅員(m)	延長(m)	事業費(千円)			
山守矢送	鳥取県	倉吉市関金町郡家～堀	4.0 ～5.0	11,748	2,861,616	H8 ～H29	11,748	0
波関俵原	鳥取県	三朝町片柴～三徳	4.0	14,109	3,350,863	S60 ～H28	14,109	0
若桜・江府	鳥取県	三朝町助谷～久原	7.0	3,300	3,434,549	H20 ～H30	2,692	608
3路線				29,157	9,647,028		28,549	608

イ 年度別事業費

(単位:千円)

年度	県営事業	補助事業	計
H13	474,226	173,917	648,143
H14	414,530	273,164	687,694
H15	250,470	251,796	502,266
H16	240,000	244,400	484,400
H17	243,500	251,600	495,100
H18	260,000	99,650	359,650
H19	275,000	48,798	323,798
H20	772,100	60,000	832,100
H21	659,000	71,000	730,000
H22	424,998	0	424,998
H23	400,683	0	400,683
H24	626,190	0	626,190
H25	453,000	215	453,215
H26	424,219	0	424,219
H27	520,636	2,948	523,584
H28	220,927	13,043	233,970
H29	203,799	11,000	214,799

ウ 災害による林道の被害状況

年度	路線数	箇所数(箇所)	被害延長(m)	被害額(千円)	主な災害名
17	9	14	513	34,191	9、10月秋雨前線豪雨
18	5	5	141	32,875	7月梅雨前線豪雨
19	0				
20	0				
21	2	3	47	4,192	10月台風18号
22	0	0	0	0	
23	20	31	1,158	245,868	9月台風12号及び15号
24	0	0	0	0	
25	2	2	25	6,825	7月豪雨
26	0	0	0	0	
27	0	0	0	0	
28	8	11	517	26,918	平成28年鳥取県中部地震
29	3	6	162	30,554	7月豪雨、9月台風18号、10月台風21号

(10) 中部管内の保安林の指定現況

私たちの暮らしを守るために特に重要な役割を果たしている森林を保安林に指定。

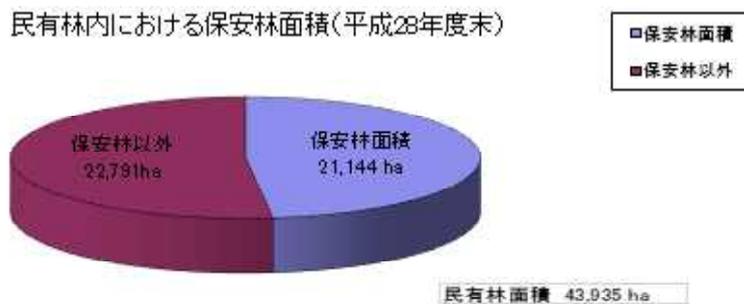


▲写真 水源かん養保安林
(琴浦町一向ヶ平)

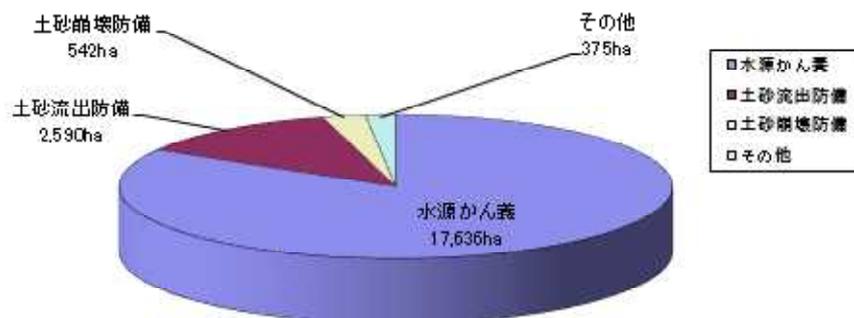
▼写真 飛砂防備保安林(勝梨浜町)



A 民有林内における保安林面積(平成28年度末)



B 保安林の種類別の内訳(平成28年度末)



中部管内の民有林の48.1%が保安林に指定され、そのうち83.4%が水源かん養保安林に指定。

(11) 森林整備事業の実績

水源かん養、飛砂防備等の公益的機能の維持・回復のため、森林整備（植栽、防風工設置、下刈、本数調整伐、等）を行っている。

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
保安林改良事業							
防風工 (m)	70.0	112.0	133.0	1,019.0	142.5	—	112.5
静砂工 (m)	652	662	1,673	3,799	1,744	—	1,206
植栽工 (ha)	0.35	1.37	0.82	2.18	0.78	—	0.54
保育事業							
下刈 (ha)	10.15	7.86	8.48	9.80	10.34	10.27	9.73
除伐 (ha)	2.70	3.90	2.60	3.54	—	13.37	8.54
本数調整伐・枝落し等 (ha)	2.40	1.28	0.81	—	2.17	0.69	—
補植 (ha)	—	0.50	—	0.34	—	0.51	—
とっとり環境の森緊急整備事業(強度間伐) (ha)	7.52	—	—	—	—	—	—



▲保安林改良事業(湯梨浜町石脇) H25年度植栽



※左記事業地のH29.8月の状況



▲保育事業【下刈り】(北栄町大谷)



▲保育事業【除伐】(三朝町大谷)

(12) 林業普及活動状況

① 持続的な森林経営の確立支援

急傾斜地等の路網の作設が困難な森林、奥山の路網が未整備な森林の木材搬出を推進するため、オーストリア製のタワーヤーダの効率的な活用を支援している。

持続的に低コスト林業を進めるため、「鳥取式作業道」、「オーストリア式の強い道作り」を活用し、丈夫な道作りを支援している。

スギ、ヒノキ人工林の資源構成の平準化を図るため、皆伐・再生林を推進している。



② 森林を支える人づくりの支援

中部管内の森林整備・保全を実施する担い手の確保・育成や低コスト林業に向けた人材の育成及び林業における安全な労働環境の構築のため研修会等を開催している。



倉吉農高生の現地研修の様子



中部林業労働安全研修会の様子

③ 特用林産物の生産振興

特用林産物の生産は、地域の森林資源を活用した産業の一つであり、特に中部管内の特用林産物の主力である原木シイタケとタケノコ生産は、その栽培活動が里山林の整備・維持管理にも繋がっていることから、生産拡大等の取組の支援や栽培技術等の指導・助言を行っている。



シイタケ原木林調査の様子



タケノコ栽培技術研修会の様子

④ 地域材の利用拡大

木質資源の地域の循環を推進するため、木造住宅や公共建築物等の県産材利用の推進と併せて、「木育」を進め、木の良さと森を育てる意義等を普及啓発している。



H30.10.28「山の祭り」
木育ブースで遊ぶ子どもたち